



## 地域の特徴的な動き

- I. 九州財務局管内の経済構造を踏まえた地域の特徴的な動向
- II. 最近の九州財務局管内の経済情勢



【熊本】



【大分】



【宮崎】



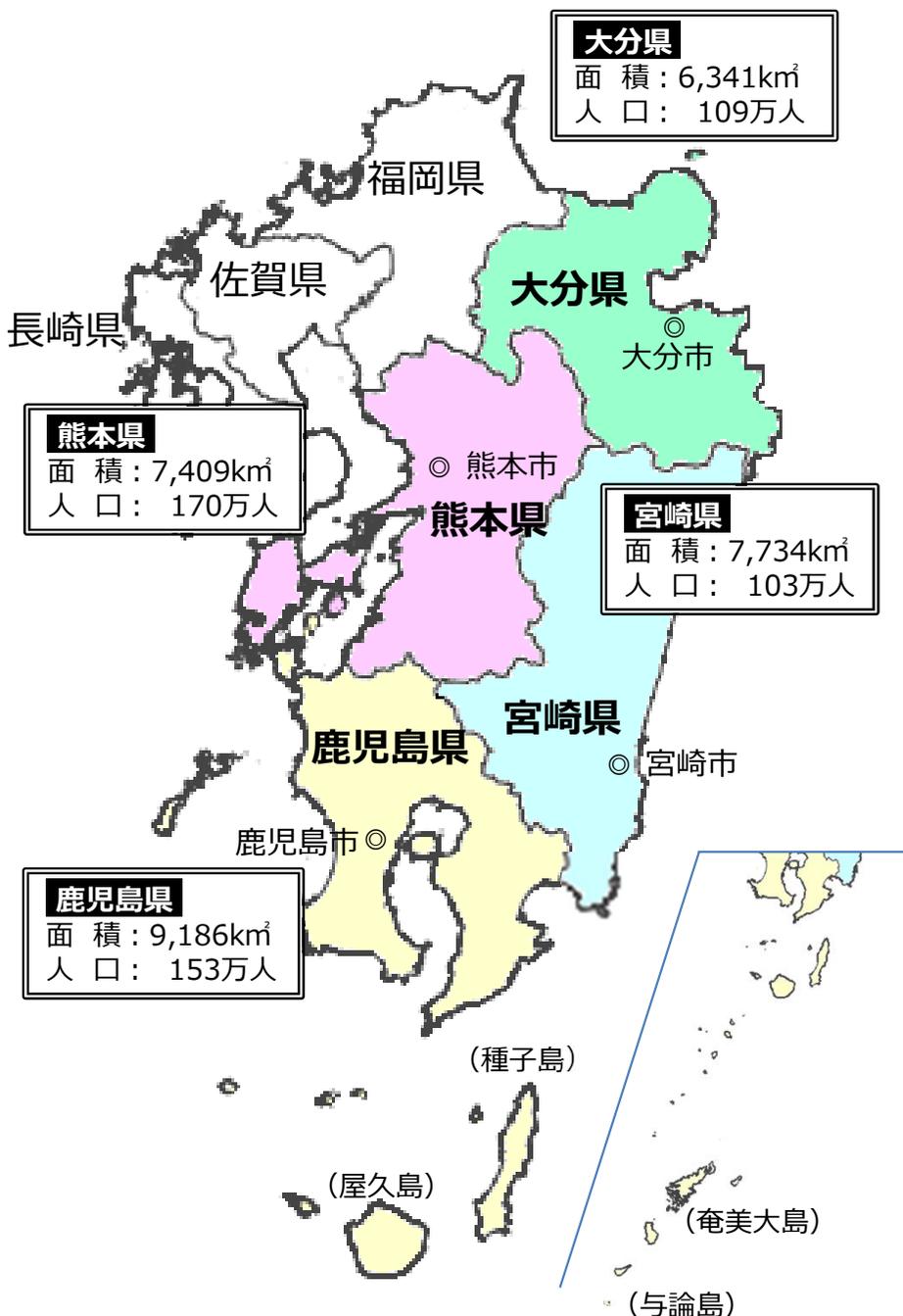
【鹿児島】



【名瀬】

令和7年7月  
九州財務局

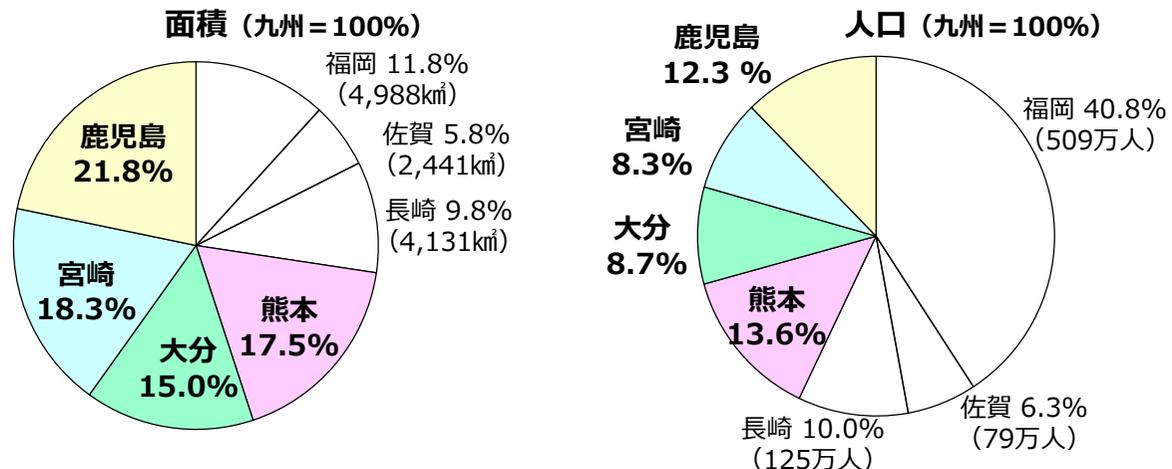
# I. 九州財務局管内の経済構造を踏まえた地域の特徴的な動向



(出所)国土地理院ホームページ(<https://maps.gsi.go.jp/>)地理院地図を加工して作成

## 1. 面積・人口

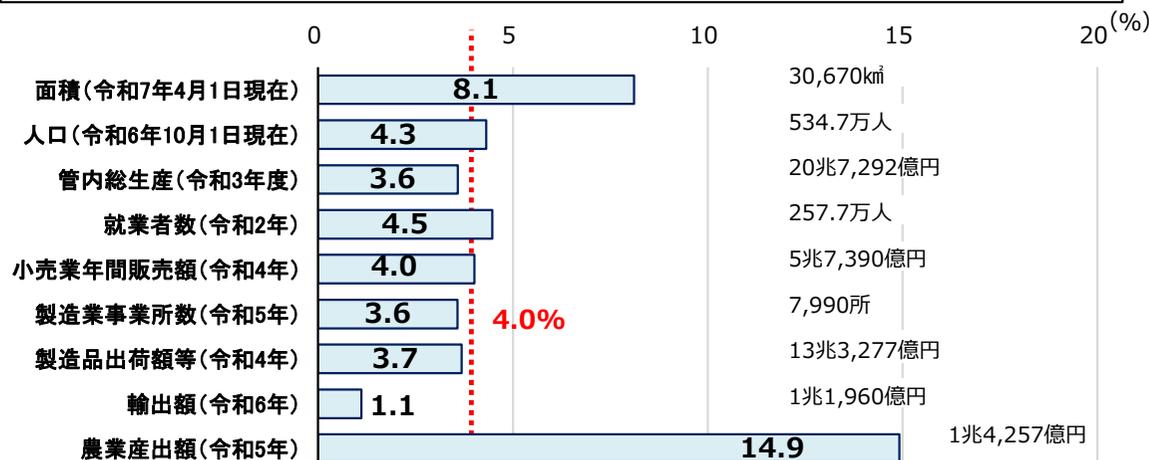
- 管内4県（熊本・大分・宮崎・鹿児島）の面積は全国の8.1%、人口は全国の4.3%
- 九州（沖縄を除く）をみると、管内4県の面積は72.6%、人口は42.8%



(注)構成比の数値の合計は、端数処理の関係で100とならない場合がある。  
(出所)国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(令和7年4月1日現在)、総務省「人口推計」(令和6年10月1日現在)

## 2. 経済規模

管内4県の経済規模は、主な指標で見ると、概ね全国の4%であるが、農業産出額については全国の約15%を占める



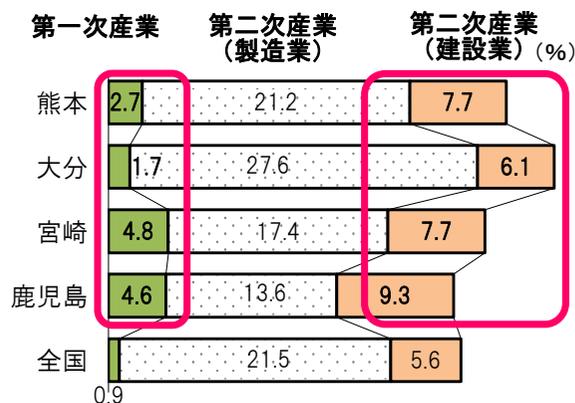
(注)輸出額は確々報値。製造業事業所数及び出荷額等は全事業所の値。  
(出所)国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」、総務省「人口推計」、内閣府「県民経済計算」、総務省・経済産業省「経済構造実態調査」、門司税関「九州経済圏各県別の貿易」、総務省「国勢調査」、農林水産省「生産農業所得統計」

# I. 九州財務局管内の経済構造を踏まえた地域の特徴的な動向

## 3. 管内総生産

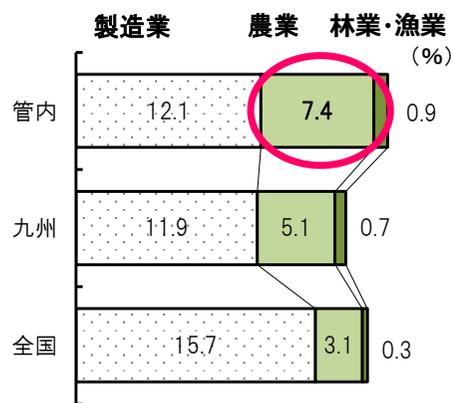
- 第一次産業、建設業の割合が全国平均より高い
- 農業就業者の割合が高い一方、製造業就業者の割合が低い

管内総生産の産業別割合



(出所) 内閣府「県民経済計算」(令和3年度)

就業者数の産業別割合

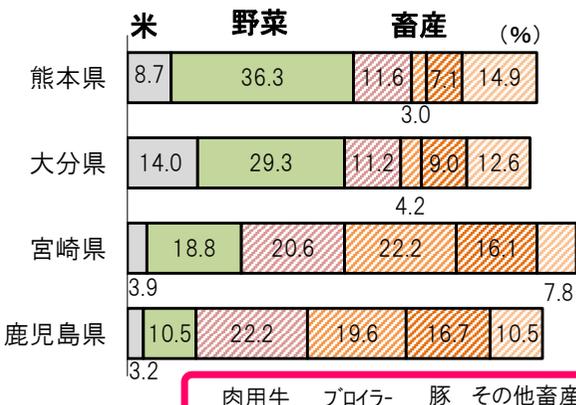


(出所) 総務省「国勢調査」(令和2年)

## 4. 農業産出額

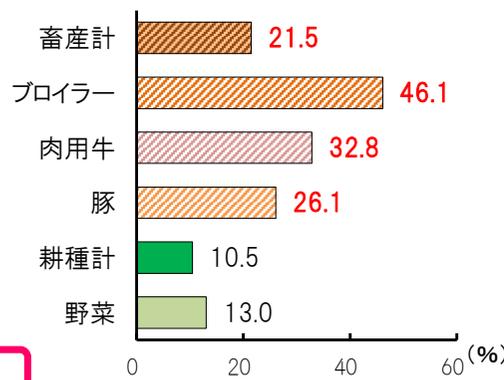
第一次産業では畜産の割合が高く、ブロイラー、肉用牛、豚の全国シェアが高い(温暖な気候、水はけの良いシラス台地、飼料(焼酎の搾りかす)等)

農業産出額の品目別割合



(出所) 農林水産省「生産農業所得統計」(令和5年)

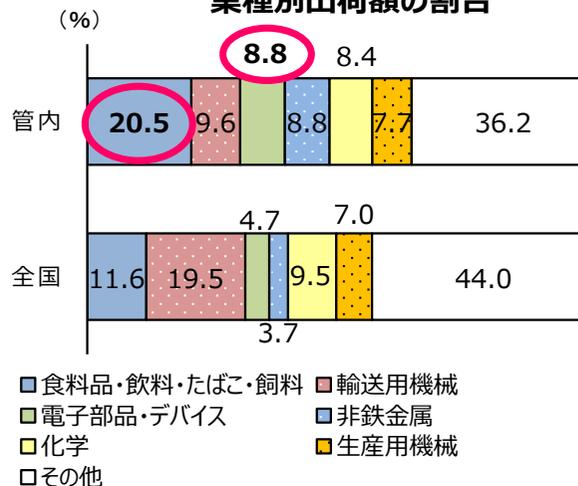
主要農産物の全国シェア



## 5. 製造品出荷額等

「食料品等」、「電子部品・デバイス」などの割合が全国平均よりも高く、「食料品等」では焼酎の全国シェアが高い

業種別出荷額の割合



(出所) 総務省・経済産業省「令和5年経済構造実態調査」(令和4年実績)

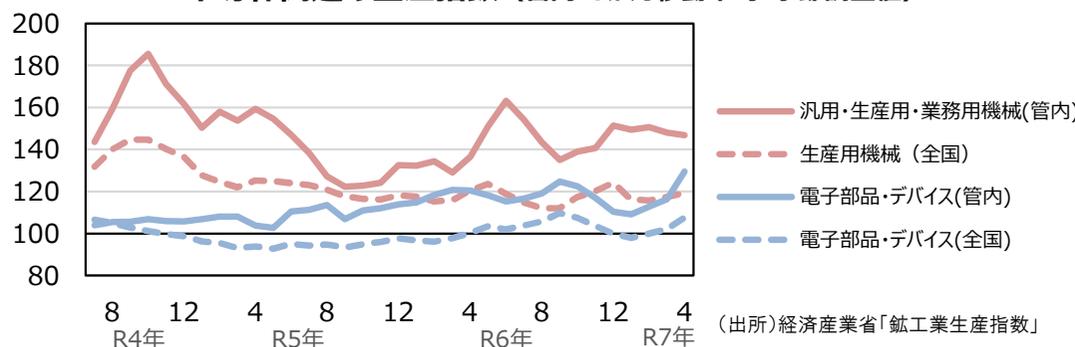
焼酎メーカー売上高ランキング

順位	商号	所在地	主力銘柄	売上高 (百万円)
1	霧島酒造(株)	宮崎	黒霧島	59,383
2	三和酒類(株)	大分	いいいちこ	26,035
3	二階堂酒造(有)	大分	二階堂	15,100
4	濱田酒造(株)	鹿児島	海童	14,418
5	雲海酒造(株)	宮崎	木挽BLUE	14,031
6	(株)宮崎本店	三重	キンミヤ焼酎	8,262
7	薩摩酒造(株)	鹿児島	さつま白波	7,750
8	若松酒造(株)	鹿児島	薩摩一	7,495
9	本坊酒造(株)	鹿児島	桜島	6,541
10	高橋酒造(株)	熊本	白岳	5,499

(出所) 帝国データバンク(令和5年調査結果)

半導体関連の生産活動をみると、全国では落ち着きが見られるものの、管内の「電子部品・デバイス」や「汎用・生産用・業務用機械」は高水準を維持している

半導体関連の生産指数(管内・3か月移動平均・季節調整値)



(注1) 全国の指数は令和2年基準、管内の指数は熊本県(令和2年基準)、大分県(令和2年基準)、宮崎県(平成27年基準)、鹿児島県(令和2年基準)の指数値を基に九州財務局において算出  
(注2) 「汎用・生産用・業務用機械(管内)」及び「生産用機械(全国)」は、半導体製造装置以外の機械も含む

# I. 九州財務局管内の経済構造を踏まえた地域の特徴的な動向（半導体関連）

- 管内には、**画像センサー**や**車載向けマイコン**、**パワー半導体**等で高い世界シェアを占める半導体メーカー、製造装置メーカーが集積
- 熊本県では、**TSMC（台湾積体回路製造）熊本第1工場**が**出荷を開始**している。また、周辺地域では**ソニー熊本第2工場**が**建設中**であるほか、**TSMC熊本第2工場の年内着工が予定**されており、**半導体関連企業の集積が進む見通し**

## 管内の主な半導体関連企業

- ◎ 一貫工場
- 前工程工場
- 後工程工場
- 半導体製造装置

■ 荏原製作所 熊本事業所  
(半導体製造装置)

● ルネサスエレクトロニクス 大分工場  
(車載向けマイコン)

○ 三菱電機パワーデバイス製作所  
熊本工場 (パワー半導体)

◎ ソニーセミコンダクタ  
マニュファクチャリング 熊本TEC  
(画像センサー)

※ソニー熊本第2工場  
稼働開始:未定

■ 東京エレクトロン九州  
(半導体製造装置)

○ ルネサスセミコンダクタ  
マニュファクチュアリング 熊本川尻工場  
(LSI、車載向けマイコン)

● 京セラ 川内工場  
(半導体部品等)

● 京セラ 国分・隼人工場  
(積層セラミックコンデンサ等)

○ ソニーセミコンダクタ  
マニュファクチャリング 鹿児島TEC  
(画像センサー)

○ ソニーセミコンダクタ  
マニュファクチャリング 大分TEC  
(画像センサー)

○ ジャパンセミコンダクター  
(各種IC)

○ JASM [TSMC熊本第1工場]  
(前工程受託)  
※JASM [TSMC熊本第2工場]  
着工開始:年内

○ ラピスセミコンダクタ 宮崎工場  
(各種IC)  
※ラピスセミコンダクタ 宮崎第2工場  
(パワー半導体)【報道ベース】  
・投資額:約3,000億円  
・量産開始:未定

**TSMC熊本第1工場(熊本県菊陽町)**  
運営会社: Japan Advanced Semiconductor Manufacturing  
株式会社 (JASM)



## TSMC熊本工場の概要

	第1工場	第2工場
設備投資額	約86億米ドル	約139億米ドル
日本政府 最大助成額	4,760億円	7,320億円
主要製品	□ジック半導体 (22/28nm・ 12/16nm)	□ジック半導体 (6nm・12nm・40nm)
用途	画像センサー、自動車 など	人工知能 (AI)、 スマートフォン、自動車、 電子機器など
初回出荷	2024年12月	2027年10~12月
従業員	約1,700名	約1,700名

(出所) 九州経済産業局「九州経済の現状2024」及び国土地理院ホームページ(<https://maps.gsi.go.jp/>)地理院地図を基に九州財務局において加工して作成

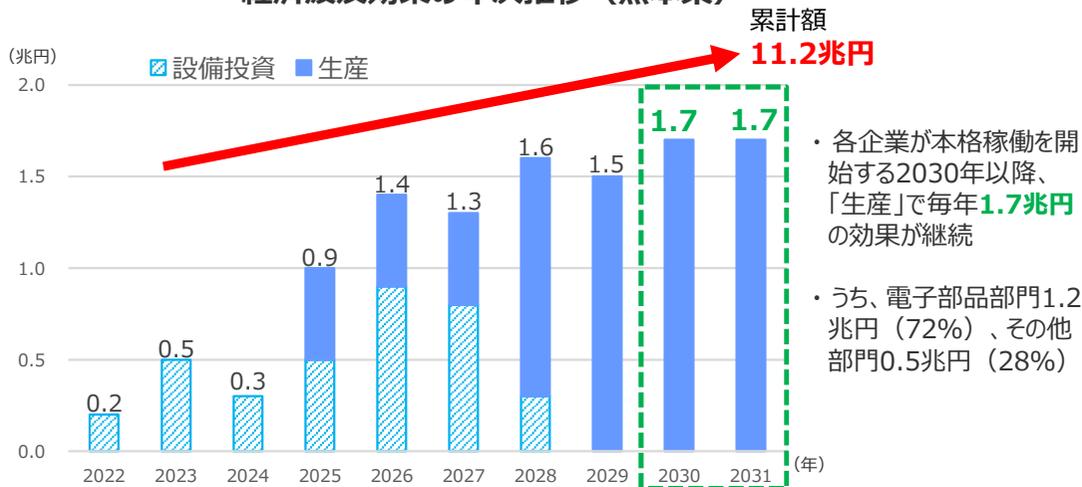
(出所) 経済産業省「半導体に関する最近の政策動向について - 令和6年2月」及び新聞報道等を基に九州財務局において加工して作成

# I. 九州財務局管内の経済構造を踏まえた地域の特徴的な動向（半導体関連～熊本県内の動き～）

## (1) 半導体関連産業の集積に伴う熊本県内への影響

- 2022～2031年（10年間）の熊本県内への経済波及効果は累計 **11.2兆円**、うち県内総生産への影響額は5.6兆円と試算されている。

### 経済波及効果の年次推移（熊本県）



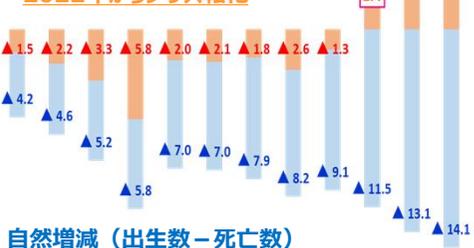
(出所) ㈱九州フィナンシャルグループ「電子デバイス関連産業集積に伴う地域経済への波及効果の見直しについて」を基に九州財務局において加工して作成

- 熊本県ではTSMCの進出発表後、社会増減がプラスに転化
- 企業集積に伴って、熊本県内では貸家需要が増加

### 熊本県の人口変動



### 社会増減（転入数－転出数）

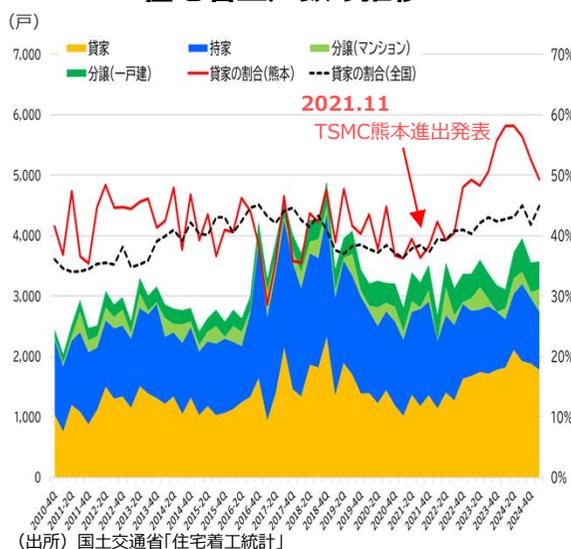


### 自然増減（出生数－死亡数）

2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年 2023年 2024年

(出所) 熊本県「熊本県推計人口調査結果報告」を基に九州財務局において加工して作成

### 住宅着工戸数の推移



## (2) 半導体人材の育成に向けた取組

- 熊本県内では、企業や大学、自治体など産学官が連携し、半導体人材の育成に向けた取組を進めている。

＜熊本県内における最近の動き＞

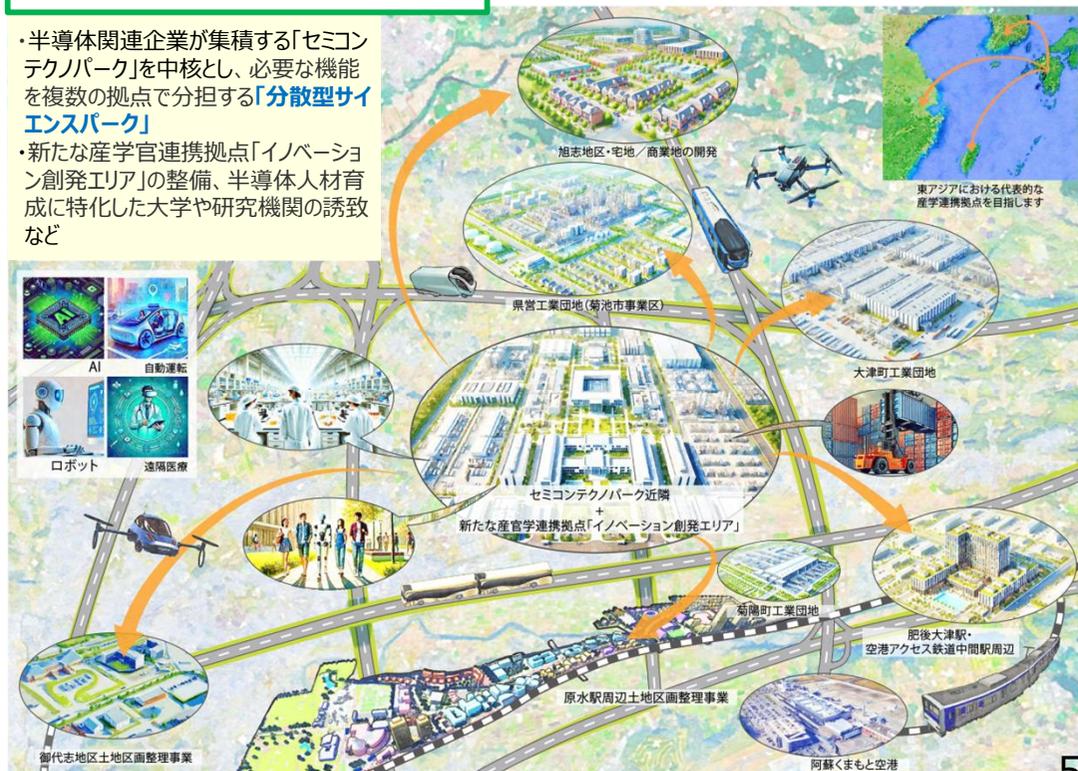
- 熊本大学 2024年4月、工学部に国内の大学で初めてとなる半導体技術者・研究者の育成に特化した「**半導体デバイス工学課程**」（学科相当）を設置。2026年度には「**半導体リスキリングセンター**」を開設予定。
- 水俣高校 2025年4月、高校で全国初となる半導体関連学科「**半導体情報科**」を設置。連携協定を締結した水俣市や㈱アスカインデックス（体験型研修などの育成事業を展開）と、半導体の製造プロセスを理解し幅広い産業界で活躍できる人材の育成を目指す。

＜九州全体における最近の動き＞

- ・九州半導体人材育成等コンソーシアムによれば、産業集積が進む一方、九州では**2023～2032年（10年間）で半導体人材が年間1,000人程度不足することが見込まれている**。
- ・同コンソーシアムでは人材育成・確保のKPIを設定。2022年度を起点に、2026年度末時点で40万人、2031年度末時点で140万人の人材育成を目指している。

### くまもとサイエンスパーク構想

- ・半導体関連企業が集積する「**セミコンテクノパーク**」を中核とし、必要な機能を複数の拠点で分担する「**分散型サイエンスパーク**」
- ・新たな産学官連携拠点「**イノベーション創発エリア**」の整備、半導体人材育成に特化した大学や研究機関の誘致など



(出所) 熊本県「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」を基に九州財務局において加工して作成

## II. 最近の九州財務局管内の経済情勢

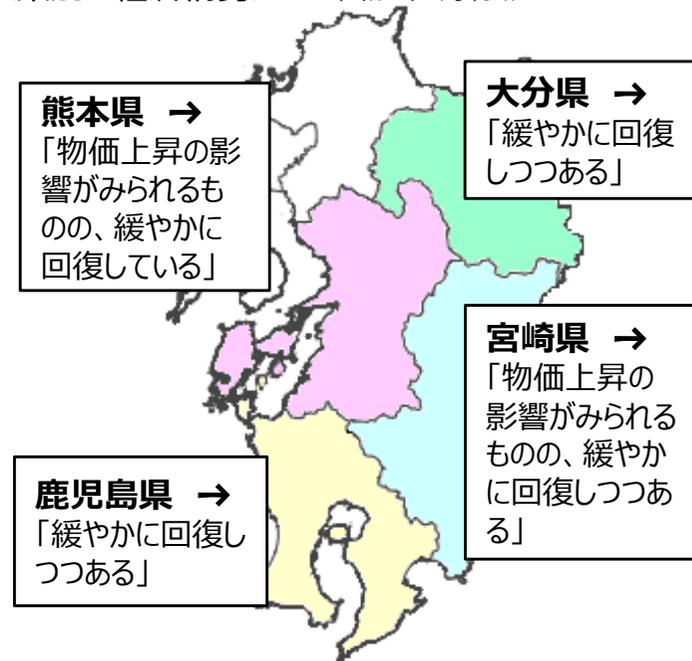
	前回（7年4月判断）	今回（7年7月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある	<b>物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある。</li> <li>○ 生産活動は、一部に弱さがみられており、横ばいの状況にある。</li> <li>○ 雇用情勢は、持ち直している。</li> </ul>

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

	前回（7年4月判断）	今回（7年7月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある	<b>物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある</b>	
生産活動	横ばいの状況にある	<b>横ばいの状況にある</b>	
雇用情勢	持ち直している	<b>持ち直している</b>	
住宅建設	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	<b>持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている</b>	

＜県別の経済情勢＞ ※令和7年7月判断

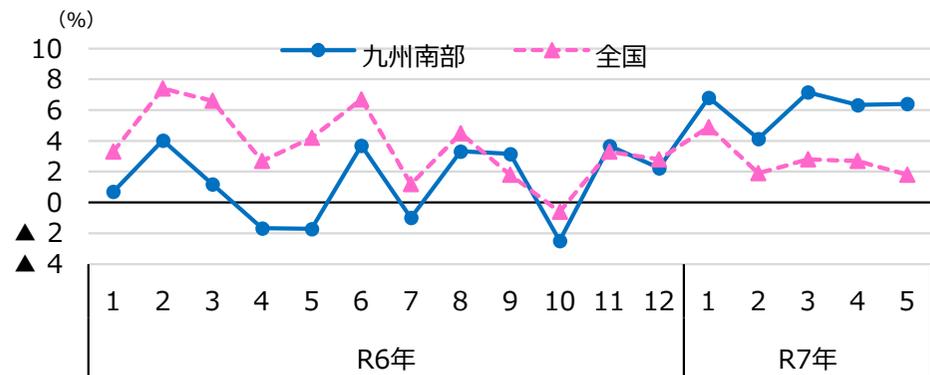


（注）7年7月判断は、前回7年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（出所）国土地理院ホームページ(<https://maps.gsi.go.jp/>)地理院地図を加工して作成

# 1. 個人消費 ～ 物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある ～

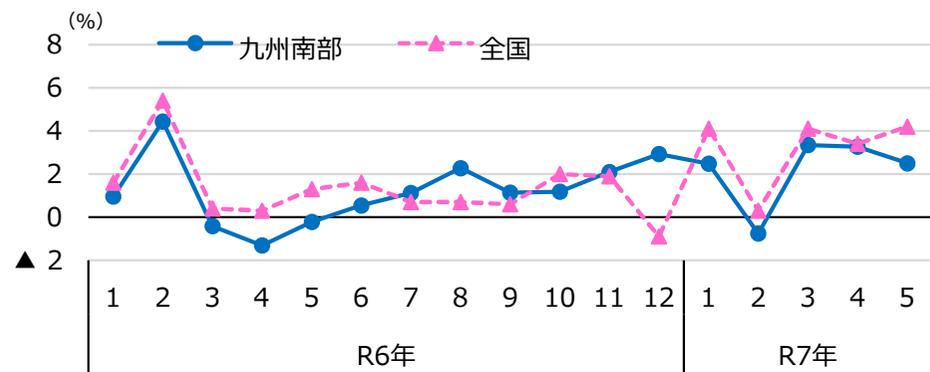
〔百貨店・スーパー販売額(前年比)〕



(注)全店ベース。

(出所)経済産業省

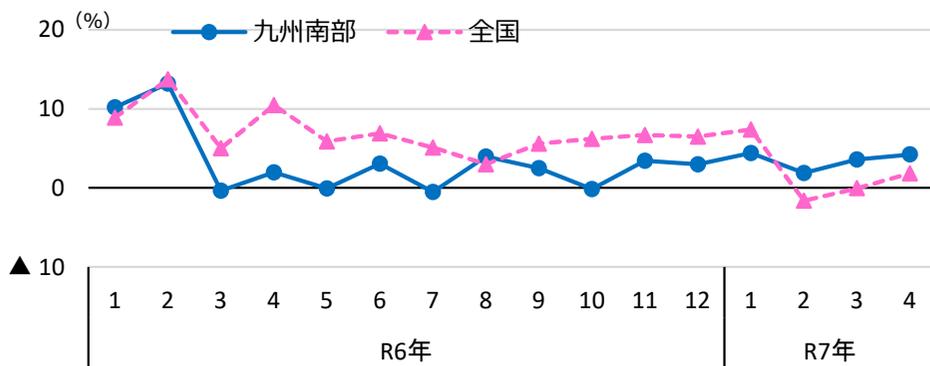
〔コンビニエンスストア販売額(前年比)〕



(注)全店ベース。

(出所)経済産業省

〔延べ宿泊者数(前年比)〕



(出所)観光庁

- 百貨店・スーパー販売は、回復しつつある。
- コンビニエンスストア販売は、緩やかに持ち直している。
- ドラッグストア販売は、堅調である。
- ホームセンター販売は、横ばいの状況にある。
- 家電大型専門店販売は、持ち直しつつある。
- 乗用車の新車販売は、持ち直している。
- 宿泊は、緩やかに回復している。

## ※ 主なヒアリング結果

### (百貨店・スーパー)

- 食品催事の売上げは前年を上回る状況が続いており、4～5月にかけて実施した催事では過去最高の売上げを達成した。普段は節約しながら催事などのイベントの際には思い切って買物をするメリハリ消費が続いている。
- 米の価格は依然として高い水準にあるものの、品出しするとすぐに完売するほど引き合いが強い。米の代替としてパスタの売上げが伸びており、それに付随してパスタソースの売上げも伸びていることから、セットで販売促進を行っている。

### (コンビニエンスストア)

- クーポン発行などの販売促進施策の効果や、天候が良く人流が活発であったことから、客数及び客単価が伸びており売上高は前年を上回っている。

### (宿泊施設)

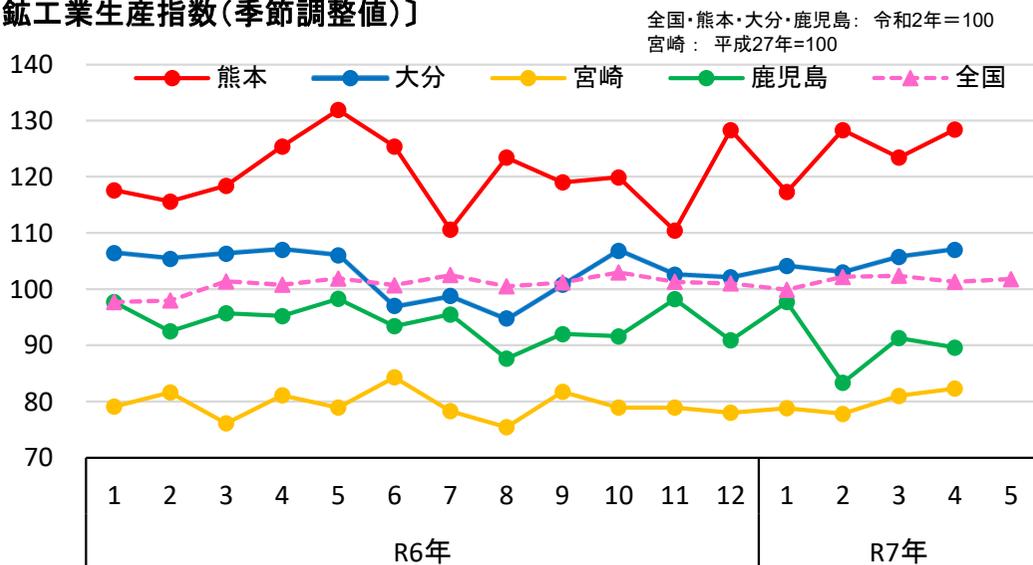
- 韓国及び香港からのインバウンド客は足下で減少しているものの、国内客を中心に予約は好調に推移している。

### (宿泊業界団体)

- 7～8月に多くのスポーツ大会などが予定されており、宿泊者数の増加が見込まれる。

## 2. 生産活動 ～ 横ばいの状況にある ～

〔鉱工業生産指数(季節調整値)〕



(注)各県の7年4月は速報値。

(出所)経済産業省、各県

- 食料品等は、横ばいの状況にある。
- 電子部品・デバイスは、一部に弱さがみられるものの、高付加価値製品を中心に高水準を維持している。
- 汎用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置を中心に高水準を維持している。
- 化学・石油製品は、緩やかに持ち直しつつある。

### ※ 主なヒアリング結果

(電子部品・デバイス)

- スマートフォン市場の緩やかな回復基調は継続している。高付加価値化に伴う単価上昇及び需要増加が継続しており、生産数量及び生産額は前年を上回っている。

(汎用・生産用・業務用機械)

- 中国向けの半導体製造装置の需要はピークアウトしたものの一定のボリュームを維持しているほか、台湾や韓国などにおいて先端向けの需要が増加している。

## 3. 雇用情勢 ～ 持ち直している ～

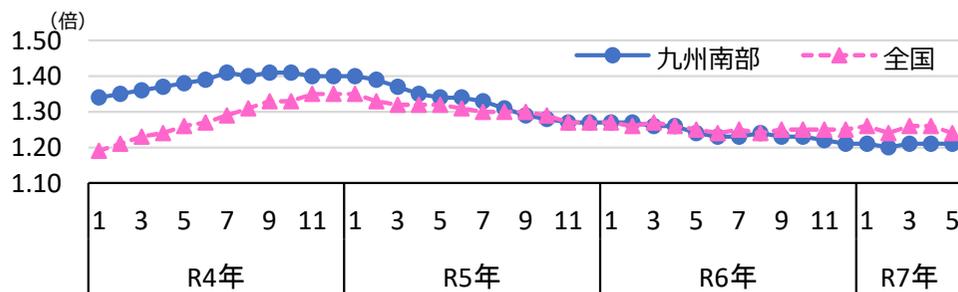
- 有効求人倍率は、このところ横ばいの状況にある。新規求人数は、前年を下回っている。企業の人手不足感は、高い状況が続いている。

### ※ 主なヒアリング結果

(公的機関)

- 求人数は減少しているものの、人手不足の傾向は変わらない。求人数の減少要因は、景気悪化によるものではなく、外国人労働者の受入れや飲食店、小売店における省人化等が考えられる。

〔有効求人倍率(季節調整値)〕



(注)パートを含む。

(出所)厚生労働省、各労働局

## 4. 住宅建設 ～ 持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている ～

- 新設住宅着工戸数をみると、持家、分譲住宅は前年を下回っているものの、貸家は前年を上回っている。

### ※ 主なヒアリング結果

(公的機関)

- 熊本の貸家については、需要が旺盛だった前年と比較すると一巡したように感じている。

〔新設住宅着工戸数(前年比)〕



(出所)国土交通省